

● 下町情緒が残る木綿街道

旧平田市（現在は出雲市）内を流れる船川周辺は、江戸時代から明治にかけて木綿の栽培・集散地として栄えていました。

「木綿街道」では、「酒蔵」「しょうゆ蔵」や大地主であった「本石橋邸」の旧家などを見ることができ、歴史の面影を感じながら散策することができます。街道を歩くとほのかに漂う醤油や麴の匂い。「蔵見学」「醤油テイスティング」や「利き酒」など蔵ならではの楽しみもあります。

「来間屋生姜糖本舗」では、出雲出西（いずもしゅっさい）生姜を使用した出来立ての生姜糖を味わうこともできます。木綿街道先にある「宇美神社」は、縁結び・縁切り神社としても有名です。近くに来たら縁結びの願いをしましょう。

また、出雲市平田地区では、端午の節句を前に春の風物詩「平田船川鯉のぼり群泳」が行われました。

平田船川にかかる新愛宕橋（しんあたごばし）の両側に青空のもと、春風を受けながら気持ちよく泳いでいる色とりどりの鯉のぼり。

子供たちの健やかな成長を願い、地元の皆さんから寄付を受けた鯉のぼりを使って毎年実施している行事で、地元の多くの人たちを笑顔にしています。



街道入口で皆さんを出迎える大きな看板



青空のもと、勢いよく泳ぐ鯉のぼり

弊社もこの透き通るような青空に泳ぐ鯉のように、地域を見守り、環境の保全に貢献してゆきたいと思えます。



立ち並ぶ旧家と、温かみを感じさせる醤油屋さん